

話題

不況の煽りで、産廃処理各社は軒並み売り上げ・利益を落としている。取り扱いは分野にもよるが、対前年比にすると60〜70%にとどまっている。一口に3割減というが、これだけダウンすると従業員への賞与や給料のカットにまで及ぶレベルだ。

しかし、このような状況下にあつて、売り上げを伸ばしている産廃処理企業もある。

一体、何をとり扱っているのか中味を

見ると、十中八九は混合廃棄物。いわゆる中間処理残さと呼

狙いは混合廃棄物、勝負の分かれ目は!?

型処分場に搬入する混合廃棄物の受入れが少ない性状の産廃だ。景気の良い時であれば、手間が掛かる上、回収できる資源物も少ないこれらの産廃を、敢えて取り扱おうとする業者はほとんどなかった。だが、経済活動の鈍化により、産廃の排出量が極端に減っている昨今、売り上げを拡大するには、あまり手の着けられていない産廃を取り込んでいくしかない。そこで混合廃棄物が、にわかに注目を浴びることになる。

ばれるもので、微細な可燃物が混じり込んでいるため、管理

する中間処理業者は、

先日、訪問したあかれ目となつてくる。

景気の良い時であれば、手間が掛かる上、回収できる資源物も少ないこれらの産廃を、敢えて取り扱おうとする業者はほとんどなかった。だが、経済活動の鈍化により、産廃の排出量が極端に減っている昨今、売り上げを拡大するには、あまり手の着けられていない産廃を取り込んでいくしかない。そこで混合廃棄物が、にわかに注目を浴びることになる。